

校内読書週間に合わせてセットを申し込みました。

福岡県八女市立南中学校

利用セット「中南米セット 中学校向」

利用時期 平成 23 年 6 月 2 日～7 月 4 日



南中学校の学校司書、濱田先生に伺いました。

Q 学校図書館セット貸出しを、申し込まれた理由を教えてください。

A この時期は、校内読書週間でもあり、常に視野を広く持ってほしいと願っているため、チャンスがあれば積極的に利用する意向です。また、市立図書館や県立図書館だけでなく、国立国会図書館からも借用できるという公立図書館のネットワークの広さを生徒たちに認識させる機会であると考えています。

Q セットの本をどのように活用されましたか？

A 本校図書館の入口付近(カウンター横)に、特設コーナーを作って並べました。全校生徒・職員に向けて、給食時間中、放送で「国際子ども図書館」を紹介し、借用した本を館内に展示している旨を知らせました。また、図書館だよりに掲載し、コーナーの写真を撮って校内の掲示板に貼って PR しました。



Q 工夫した点、苦労した点はありますか？

A 通常、絵本などは「比べて見よう！〇〇語と日本語の絵本」などと書いた POP を作り、原書の横に日本語版を並べて置きます。今回は、ビジュアル系を意識して、平置きやスタンドを利用して目立つように展示し、青いケースも一緒に並べて置きました。

日頃、手軽に読める本ばかり手にして、じっくり読み込む必要のある、活字ばかりの長編小説などを敬遠する生徒が多いため、こういう機会にしっかりと読み物に挑戦してほしいと思っています。そこで、海外の風景などビジュアル的な見やすいものから入るよう、特にこのセットの中には写真も豊富で美しいものが多いので、それらを引き込みやすくするため、ページを開いておきました。外国の様子、人々の暮らしや街並み、中学生の服装などは特に女子生徒たちに関心があったようです。「ここ、行ってみたいんだよね」「きれいだね」などと毎日、放課後の部活の前に立ち寄っては、本を広げて熱心に語り合っている生徒たちもいました。

Q 次にセットを利用する学校にアドバイスがあれば、お願いします。

A 前回、北欧セットを借用した折、カナダ出身の ALT が小学校時代にそちらに住んでいたとのことで、とても懐かしがっていました。生徒たちと一緒に本を見ながら話を聞き、楽しい昼休みを過ごしたこともありました。本校でも、原書はもちろん、このセットのようにまとまった資料を揃えることはできませんので、借用という形でどんどん利用するのいいと思います。邦訳書の絵本を生徒たちに朝読の時間に読み語りをしたことがあります。終了後に原書を見せて、同じ絵本を対比させて紹介しました。日本と外国の絵本の違いも発見できて、楽しいと思います。



本を手に取りやすくするために工夫が参考になります！ご利用ありがとうございました。 国際子ども図書館担当より

(2011 年 11 月)

北欧セットを借用した際に発行した図書館だより



あなたは 知っていますか？

八女市立南中学校図書館



国際子ども図書館
International Library of Children's Literature



国立国会図書館 National Diet Library



東京都台東区上野公園 12-49
TEL 03-3827-2053

国際子ども図書館とは

- 国際子ども図書館は、内外の児童書とその関連資料に関する図書館サービスを国際的な連携の下に行うため、2000年(平成12年)1月1日、国立国会図書館の支部図書館として設立され、同年5月5日に部分開館し、2002年(平成14年)5月5日に全面開館しました。
- この図書館は、わが国初の国立の児童書専門図書館です。
- 「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く」という理念に基づき、子どもの読書環境・情報提供環境の整備のために活動を行います。

このたび、ひいらぎ図書館では、国立国会図書館国際子ども図書館から「学校図書館セット貸出し」を受け付けてもらい、その中から「北欧セット」を借りることにしました。スウェーデン・ノルウェー・フィンランド・アイスランド・デンマークといった国々の作品です。

本は1月19日より本校で借用することになっています。セットの中には日本の本もたくさんありますが、ノルウェー語・フィンランド語・アイスランド語などの本もあります。2ヶ国語の絵本(同じタイトルの日本語の絵本とノルウェー語の絵本など)を比べてみることもできます。今回はみなさんにこの図書館の存在を知ってもらうために借用するものです。また、いつの日か、みなさんが東京上野に足を運ばれる機会がありましたら、ぜひ思い出してほしいと思います。そして、この図書館を活用してもらえたら素晴らしいと思います。

到着したい貸し出しは開始しますが、これらは通常のようにバーコードでの扱いはしません。図書館カウンターにある「特別貸出簿」に記入してください。借りるときには、図書係か司書にひとことお知らせください。この「学校図書館セット」は、全国の中学生が利用するものです。どうぞ大切に扱ってください。

また、借用期間は2/18(木)までです。東京に返送するため2/15(月)までの貸し出しとします。期限は確実に守るようお願いします。図書館中央にセットの図書と国際子ども図書館のパンフレットを置いてありますのであわせてごらんください。

いつか行けたらいいですね、東京上野の国際子ども図書館！

学校図書館セット貸出し(北欧セット)



セットにはいろいろありますが、今回はこの「北欧セット」が借れました。

- 1「赤い目のドラゴン」2「オーラのたび」3「さるのオズワルド」4「ぬまばばさまのさけづくり」5「ペレのあたらしいふく」6「マーヤの植物だより」7「ゆきとナカイのうた」8「ころころパンケーキ」9「ニルスのふしぎな旅1」10「ムーミン谷の彗星」11「やかまし村の子どもたち」12「子どもに語る北欧の昔話」13「北欧神話」14「目で見える世界の国々 43 アイスランド」15「あなた自身の社会」16「ヴァイキング」17「ヴァイキングの町」18「エクセレントフィンランドシス」19「地震と火山の島国」20「目で見える世界の国々 14 スウェーデン」21「スウェーデンのくらし」22「世界の子どもたち 6 スウェーデン」23「旅するアンデルセン」24「目で見える世界の国々 40 デンマーク」25「きみにもできる国際交流 20 デンマーク・スウェーデン・ノルウェー」26「目で見える世界の国々 39 ノルウェー」27「ノルウェーの子どもたち」28「目で見える世界の国々 34 フィンランド」29「読んで旅する世界の歴史と文化 北欧」30「北欧＝鉄道旅物語」31「北欧の小さな旅」32「北欧を知るための43章」33「指で見る」34「レーナ・マリア物語」35「わたしたちのトビアス」36「ABC」37「Aben Osvald」38「Ainon vuosi」39「Astarsaga ur fjollunum」40「Barnas store sangbok」41「Festen hos Skogkongen」42「Kanner du Pippi Langstrump?」43「Kuka lohduittaisi nyytia?」44「Lasten oma aapinen」45「Pysjun tur」46「Palle alene i verden」47「Pelles nya klader」48「Pentin aprillipaiva」49「スウェーデンと日本の小がっこうについて」50「北欧諸国のパンフレット」



ALTのアンナ先生は、8歳のころノルウェーに住んでいらしたそうです。本の写真を見ながら、「ここにはよく行きました」と懐かしがっておられました。夜が明るいので、家族で釣りに行って、気が付いたら夜中の1時だったりしたこともあったそうです。いつか行ってみたいですね、そんな白夜の国—太陽の沈まぬ国。